



あけましておめでとうございます。新しい年がスタートしました。年末年始は、夜ふかしや朝寝坊をしてしまいがちですが、みなさんいかがでしたか。寒くて布団からでるのがつらい季節、「早寝・早起き・朝ごはん」で、早く生活リズムを元に戻しましょう。そしてかぜやインフルエンザが流行する季節です。栄養バランスのよい食事と十分な睡眠をとって元気に乗りきりましょう。



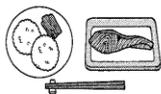
1月24日から30日は  
ぜんこくがっこうきゅうしょくしゅうかん  
全国学校給食週間です！

全国学校給食週間は、学校給食の意義や役割などについての理解を深め、関心を高めるための1週間です。

学校給食は戦争によって中断していましたが、戦後、世界からの温かい支援で再開されました。昭和21年12月24日に給食物資の贈呈式が行われ、この日を「学校給食感謝の日」と定め、後に冬休みと重ならない1か月後の1月24日から30日が「全国学校給食週間」となりました。

### 知っていますか？

#### 学校給食の始まり



学校給食は、明治22年、山形県鶴岡町(現在の鶴岡市)の私立忠愛小学校で家が貧しい子どもたちへ、無償で昼食を出したのが始まりとされています。当時の献立は、塩さけ、おにぎり、漬物などが出されたといわれています。

### 植水小の給食週間の取組

20日から24日は「植水小学校給食週間」です。給食委員会の児童を中心とした活動や、テレビ放送などを行います。また給食では、「普通の給食」や「姉妹・友好都市の料理」を提供する予定です。給食週間の取組については、2月の給食だよりで詳しく紹介します。



この期間には、食べ物や作る人々の思いに感謝し、食べることの大切さについても考える機会としています。ご家庭でも、食事の大切さについてお話ししていただければと思います。





